

# 部活動などの表彰

## 《ソフトテニス部》

野崎杯(足立区ソフトテニス冬季研修大会)

第3位  
ソフトテニス部 男子Aチーム



ソフトテニス部 男子Aチーム

## 《中学生税の作文コンクール》

東京納税貯蓄組合総連合会 会長賞

〇〇〇さん(3-1)

東京納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

〇〇〇〇さん(3-3)

東京納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

〇〇〇〇さん(3-4)

東京納税貯蓄組合総連合会 奨励賞

〇〇〇〇さん(3-3)

## 《実用英語技能検定》

2級

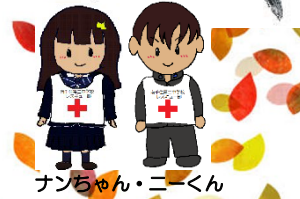
準2級

3級

**【お詫びと訂正】**11月号の霜月祭1日目の記事の中に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、次の通り訂正いたします。霜月祭のオープニングビデオは、〇〇〇〇さん(2-3)が、作詞・作曲を手掛け、〇〇〇さん(2-4)がボーカロイドの歌を作りました。



学校だより  
令和四年12月  
第132号  
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

# 3年生の面接指導を通して

校長 松田 公好

今年も3年生の面接練習の時期となり、私も12月5日から指導に加わっています。私は毎年この校長による面接指導を3年生一人ひとりと直接話せる貴重な場としてとても楽しみにしています。

私の面接指導では毎年、「あなたの今通っている中学校はどんな学校ですか?」とよく質問します。そしていつも3年生たちが胸を張って自慢げに、「**地域とのつながりを大切にしています**」と話してくれます。それを聞いて嬉しく誇らしく感じるのです。今年度の3年生たちの多くは、これに加えて「**あいさつを大切にしていること**」をあげてくれます。生徒会を中心に「あいさつ運動」に取り組んでいることをしっかり評価しているからだと感じます。

今年度で面接指導は3年目となりますが、今年はそれぞれの代の3年生の答えに少しずつ変化が見られていることに気がきました。上記の質問に対する3年生の答えの中には毎年「レスキュー部」という単語がよく聞かれます。もちろん「レスキュー部」が本校の大きな特徴として生徒に認識されているからで、これについては毎年共通しています。違いが見られるのは「レスキュー部とはどんな部活ですか?」という質問に対する3年生たちの答えです。今年度の3年生たちの答えを聞いてみると、**レスキュー部の主な目的は「地域貢献」であり、「絆ネットワーク活動」は「南二中を地域に知ってもらうための活動」「南二中生が地域とつながるための活動」という認識なのだ**とわかりました。

決して間違いではないのですが、創部当初の本来の目的からのズレは否めません。そしてこれは無理もないことで、私の反省材料でもあります。もともとは**災害時に「助けられる人から助ける人になる」ことを最大の目的として創部されたレスキュー部**です。したがって**防災訓練などを通して防災や減災についての知識や技能を身に付けることが活動の中心**だったわけですが、ところがこの3年間はコロナ禍の影響でそういった活動ができなくなってしまい、コロナ禍となった年度に入学した現在の3年生のほとんどが一度も本格的な防災訓練に参加できなかったのです。

確かに**絆ネットワーク活動は地域の高齢者の方とつながって(顔見知りになって)おくために行っていますが、それは災害時に支援を円滑に行うという大きな目的のため**です。そのことを生徒にしっかり理解してもらわなければならないと反省しています。今後どこかで説明の機会をつくりたいと思います。

今年もあとわずかとなりました。今年1年を振り返り、他にも反省すべき点を探して反省し、来年がより良い年になるよう前を向きたいと思います。

南二中関係者の皆様が**良い年をお迎えになることを祈念しております。**



# 南千住マイスターのコーナー

残念なことには日本に生息していたニホンカワウソは、一九七九年夏の目撃例を最後に、二〇一二年に絶滅が宣言されています。胡録神社の例大祭は今でも三年に一度、六月の第一週の日曜日に行われていますが、「かわうそ」が絶滅してしまった今となっては、「かわうそ狩り」はもはや幻の行事となつてしまいました。

南千住駅を汐入側に降り、隅田川沿いに進むと「胡録神社」があります。この神社は、川中島の合戦の後、高田氏が移り住んだときにつくられたものといわれています。

この胡録神社の例大祭は「押し合い祭り」といわれ、大変な盛り上がりを見せると言います。このお祭りの時、昼には神楽や村芝居、夜には鯉の寄せ鍋や「かわうそ狩り」が行われたと、明治時代の「都新聞」(明治三二(一八九九)年十月三十日刊)に記載されています。

当時、胡録神社は、現在よりも隅田川近くにあり、その境内は鬱蒼(うっそう)とした森に囲まれていました。そんな鎮守の社には狸や川獺(かわうそ)などの野生生物がたくさん棲みついていたことでしょう。当時「かわうそ」は、狸や狐と同じく、人に化けたりだましたりする動物とされてきました。日本各地には、美女や子どもに化けたり、中には生首に化けた「かわうそ」の言い伝えが残っており、「かわうそ」そのものが妖怪としてとらえられていた地方もあるようです。きっと当時は、南千住でもその「かわうそ」の伝承があったに違いありません。人に悪さをする「かわうそ」を、怖がりながら捕らえたのが「かわうそ狩り」だったのでしょうか。

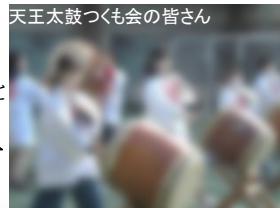


# すみだ川妖怪絵巻 NO.8 『かわうそ狩り』

協力:  
NPO法人  
千住すみだ川

# 杜明パレード

12月4日(日)、南千住地区『社会を明るくする運動』の街頭パレードが行われました。南千住二中からは毎年レスキュー部と吹奏楽部が街頭パレードに参加。今年**はレスキュー部の1・2年生25名がボランティアとして、会場やパレードの準備や片付け、プラカードを持ってパレードに参加**するなどしました。開会式の時には、「**天王太鼓つくも会**」による**特別演奏**が行われ、勇壮なリズムとパフォーマンスが繰り広げられました。また、**吹奏楽部22名は南千住二中の先頭に立ち、南千住二中の校庭をスタートして、コツ通り、仲通り、荒川一中までのコースを演奏しながら行進**しました。この日演奏した行進曲は、「あらかわ〜そして未来へ」など3曲。毎日練習を重ねてきた合奏は息もぴったりで一体感あふれた素晴らしいものでした。当日は**隊列の先頭に立ち、パレードをリードし、休むことなく長い道のりを演奏し続けました**。明るく元気なマーチングソングが街に響き、南千住の街がさらに活気あふれる1日でした。吹奏楽部の皆さん、レスキュー部の皆さんお疲れさまでした。



天王太鼓つくも会の皆さん



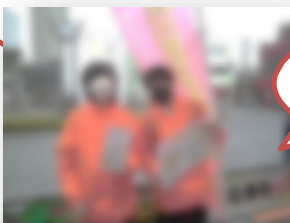
街頭パレードを行う吹奏楽部の皆さん



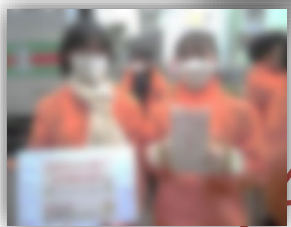
杜明パレードに参加した皆さん

## 街頭募金

12月6日(火)の放課後に、**1・2年生のスーパーレスキュー部の9名がボランティアとして南千住駅前で歳末たすけあい運動の募金活動**を行いました。この日は夕暮れになると冷たい風が吹き、家路を急ぐ人たちの中、レスキュー部の皆さんの募金をお願いする元気な声が街頭に響き、多くの皆さんが足を止めて、募金に協力してくださいました。  
集まった募金は、生活に困窮している方をはじめ、地域の誰もが安心して年末年始を迎えるための支援に使われます。ご協力ありがとうございました。



募金にご協力お願いします！



ご協力ありがとうございました！！

## 年賀状づくり

南千住二中では、区の『みまもりネットワーク事業』に登録している一人暮らしの高齢者の方々や南千住二中の『絆ネットワーク』に登録いただいている近隣の皆さまに年賀状をお送りする活動を行っています。今年も、**12月1日、6日、8日の3日間にわたり、美術部と1、2年生のレスキュー部の有志が集まり、放課後の時間を利用して、合計90通の年賀状を書き上げました**。一枚一枚に、日頃お世話になっている皆さまへの感謝とご健勝を願う気持ちが込められています。



1枚1枚に心を込めて書き上げました。

# ようこそ青年海外協力隊

12月16日(金)の5・6校時に、「**ようこそ青年海外協力隊**」が開かれました。はじめに4階ホールで全体会が行われ、講師が紹介されました。その後各教室に分かれ、青年海外協力隊として世界各国のさまざまな分野で活躍された講師の方々から現地での体験談などを伺う分科会が行われました。  
今回は講師として、ウズベキスタンをはじめ世界各国で会社の経営管理に携わった**白田 直哉さん**、エチオピアで卓球の指導を行った**篠木 伊貴さん**、イエメンで青少年活動を行った**三谷 千花さん**、ミクロネシアで環境保全のための活動や教育を行った**柏原 庸一さん**、ケニアで理科数教師、鍼灸マッサージとして活動した**石島 裕太さん**の5人の方々にご来校いただきました。専門知識を駆使し、発展途上の国々のさまざまな分野で国際貢献をしてきた皆さんの体験談は臨場感にあふれるものでした。写真や映像、実際に現地の生活で使うものに触れるなど、日本との違いに驚いたり、異文化を理解することの大切さを気づかせるもので、世界の国々に関心をもつとともに、これからの進路や将来を考える機会になりました。最後の全体会では、**〇〇〇さん(1-5)からお礼の言葉がありました**。



白田さん



篠木さん



三谷さん



柏原さん



石島さん

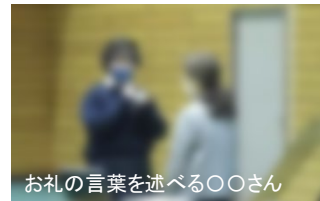
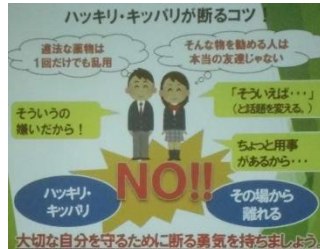


お礼の言葉を述べる〇〇さん

# 薬物乱用防止教室

12月19日(月)の5・6校時に、荒川区学校薬剤師会から**薬剤師の吉村 富子先生**に來校いただき、「**薬物乱用防止教室**」が開かれました。中学生には関係がないと思われがちですが、市販薬の大量摂取によるオーバードラッグなど、薬物乱用によって中学生が心身に大きな傷害を負うケースやネット・ゲームからはじまる依存症などは年々増加しています。今回は「**正しい薬の使い方**」「**アルコール・たばこが体に与える影響**」「**大麻をはじめとするゲートウェイドラッグについて**」「**薬物乱用による心身への影響、疾病との関連、社会への影響**」「**将来にわたって自分を守るための行動や意思決定**」「**依存症について**」などの6項目にわたってパワーポイントを使って、わかりやすく解説いただきました。最後には〇×クイズで学んだことの復習を行いました。また、質問コーナーでは、**〇〇〇〇さん(2-2)**の「**薬物は何種類あるのですか**」という問いに、吉村先生から「**数えきれないぐらいあります**」という答えをいただき、薬物の安全性の確認と服用は自分の責任で正しく行う必要があることを改めて感じました。最後に、**健康委員委員長の〇〇〇〇さん(2-2)**から吉村先生へお礼の言葉がありました。アリーナの出口には、ガラスケースに入った違法薬物のサンプルが展示されており、恐る恐る覗き込む姿も見られました。この機会を通して、薬物乱用を身近な問題と捉え、乱用が招く心身への害や恐怖を理解し、**適切な行動と強い意志で、いろいろな誘惑をハッキリ・キッパリ断る勇気をもつこと**の大切さを学びました。

吉村先生がわかりやすく薬物について教えてくださいました



お礼の言葉を述べる〇〇さん